

# 実践例「学校・学級経営の深化・充実」

## 「課題4 近隣校や地域と連携した実践的な共同研究の推進」

I. 学校名 枝幸町南ブロック5小中学校  
音標小学校・風烈布小学校・乙忠部小学校・山臼小学校・枝幸南中学校

### II. 取組の概要

#### 1. 小学校集合学習

- ・合同学習 中学校区の小学校4校が年4回、午後の2時間に学級別合同授業を行っている。教科は芸能教科と体育、道徳としている。
- ・社会見学 小学校4校の児童が教育課程に基づき、低学年と中学年がそれぞれ合同で見学学習を行う。
- ・修学旅行  
宿泊学習 小学校4校の5.6年生が合同で修学旅行と宿泊学習を隔年で行う。
- ・マラソン試走会 枝幸町内の全小学校が参加するマラソン大会に向け、会場となる北幸公園で大会本番と同じコースを試走する。

#### 2. 小中交流会

- ・春季授業交流会 枝幸南中学校を会場に、その年入学した中学1年生の授業中の様子を参観する。授業後、テーマを設定して教師間で交流を行う。  
平成29年度テーマ  
「小学校でつきたい力・中学校で伸ばしたい力」  
～小中のスムーズな連携を目指して～
- ・秋季授業交流会 その年の担当小学校を会場に、小学校での授業の様子を参観する。授業後、春からの児童の変容について交流を行う。
- ・校区小学校授業参観 中学校教員が担当する地域の小学校の授業を参観し、児童の様子について交流する。

#### 3. 取組のねらい

##### 《児童にとって》

- (1) 小規模校において体験しづらい内容や集団での活動を積極的に取り上げることで、学習効果の向上を図る。
- (2) 集団の中で多様な思考や価値観にふれさせるとともに、表現力やコミュニケーション能力の育成を図る。
- (3) 他校児童の望ましい学習習慣を学ぶとともに、同じ中学校へ進む者としての仲間意識を育む。

##### 《教師にとって》

- (1) 他校の実践にふれ、自身や自校の取り組みを見直す機会とする。
- (2) 小中連携、小小連携を推進し、指導力の向上を図る。

### III. 実践例（平成29年度）

課題4-2「三特性（へき地、小規模、複式形態）を踏まえた近隣校、異校種学校との交流」

#### 1. 学校集合学習

##### (1) 実施日・場所

- ・1回目 6月9日（金）
- ・2回目 6月16日（金）
- ・宿泊研修（高学年） 6月28日（水）～29日（木）

- ・社会見学（低・中学年） 6月28日（水）
- ・3回目（マラソン試走会） 7月12日（水）北幸公園（予備日 8月24日（木））
- ・4回目 11月 2日（木）
- ・5回目 11月 8日（水）

## (2) 確認・留意事項

### ①事前打ち合わせ

- ・南4校の学年部会で、実施計画についての確認や社会見学、宿泊体験学習、修学旅行に関する打ち合わせ時間を持つ。

### ②実施教科

- ・芸能教科を中心に、修学旅行・宿泊体験学習・社会見学に関する内容も実施する。
- ・上記以外の教科や学習内容（領域）以外についても、集合学習での有用性を模索する。
- ・体育の球技内容の割り振り確認（偶数年度と奇数年度で内容を分ける）  
奇数年度 低：キックベースボール、中：ソフトボール、高：サッカー  
偶数年度 低：ドッジボール、中：ポートボール、高：バスケットボール

### ③指導略案

- ・集合学習の「ねらい」に合致した内容や活動を工夫する。
- ・T1, T2, T3の効果的な役割を地位付け、略案に明記する。
- ・指導案は事前にブロック内で交流し、共通理解を図る。
- ・事務局校において、各学年の指導案や資料を集約し、年度ごとに全学校で保存する。
- ・略案は1週間前に各校に配信し、2日前までに確認を終える。授業後、指導案を事務局に提出し、一括保存する。

### ④反省について

- ・全6回の学習（修学旅行・宿泊体験学習・社会見学、マラソン試走会を含む）の終了後、各校でまとめた反省・改善点は事務局に報告する。
- ・事務局は、次年度の方向性をまとめ代表者会議で提案する。
- ・代表者は、会議の内容を各校に持ち帰り、検討事項があれば再度会議を開いて検討する。

## 2. 合同学習

	日にち	低学年	中学年	高学年
1回目	6月9日(金) 5.6校時	開 級 式（会場校で行う）		
		【乙忠部】 5校時：学活 6校時：道徳	【風烈布】 5校時：学活 6校時：道徳	【音標】 5校時：学活 6校時：外国語
2回目	6月16日(金) 5.6校時	【山臼】 5校時：体育 6校時：生活	【乙忠部】 5校時：音楽 6校時：社会	【風烈布】 5校時：道徳 6校時：宿泊結団式
3回目	6月28日(水)社会見学（低・中）		6月28日(水)～29日(木)宿泊研修（高）	
4回目	7月12日(水) 3校時	【北幸公園】 マラソン試走会		
5回目	11月2日(木) 5.6校時	【音標】 5校時：体育 6校時：体育	【山臼】 5校時：体育 6校時：体育	【乙忠部】 5校時：体育 6校時：体育
6回目	11月8日(水) 5.6校時	【風烈布】 5校時：道徳 6校時：体育	【音標】 5校時：体育 6校時：体育	【山臼】 5校時：体育 6校時：体育
		閉 級 式（会場校で行う）		

### 3. 社会見学

【低学年】

(1) 日時 平成29年6月28日（木）

#### (2) ねらい

- ①子どもたちの生活に身近な施設や人々の生活に関わりのある施設を見学し、生活科またはその他の教科や自分の生活の中に生かそうとする考えや態度を養う。
- ②体験や活動を通し、働いている人々の苦勞や願いを知る。
- ③南4校合同で行うことによって他校の1.2年生との交流を深めるとともに、互いに学習し合う場とする。

#### (3) 見学先

- ①枝幸町立図書館
  - ・館内の使い方や約束事の説明
  - ・自由に読書
- ②オホーツクミュージアム
  - ・館内見学
- ③グリーンパーク（昼食）
  - ・昼食、自由遊び
- ④西條デパート
  - ・食品売り場等見学
  - ・買い物体験



【中学年】

(1) 日時 平成29年6月28日（水）

#### (2) ねらい

- ①枝幸町の水産業や自分たちの生活と関りのある施設を見学し、そこで働いている人々の仕事の様子や工夫に気づかせる。
- ②普段より大人数集団での行動の仕方や公共施設での学習ルールを学ばせる。

#### (3) 見学先

- ①枝幸町浄水場
  - ・浄水場での施設や働く人たちの様子を見学する。
- ②枝幸町下水終末処理場
  - ・下水処理場の施設や働く人たちの様子を見学する。
- ③枝幸消防署
  - ・消防署内や仕事の様子について見学する。
- ④北幸公園
  - ・昼食
- ⑤三共槌谷加工場
  - ・工場の施設や設備、そこで働く人たちの様子を見学する。



#### 4. 修学旅行/宿泊学習

(1) 日時 平成29年6月28日(水)～29日(木) 1泊2日 町のバスで移動

##### (2) ねらい

- ① 日常と異なる地域にある諸施設を実際に訪れて見聞を広め、その後の学習に生かせるようにするとともに、自然や文化に親しむ。
- ② 集団生活の在り方や公衆道徳について望ましい体験をつむ。
- ③ 南4校で行う意味を考え、他校との交流を深める。

##### (3) 見学先

- ①世界の綿羊館
- ②つくも青少年の家
  - ・カヌー体験
  - ・プログラム1(箸作り)
  - ・キャンプファイヤー
  - ・プログラム2(琥珀磨き)



#### 5. 小中交流会

##### (1) 春季授業交流会

(1) 日時 平成29年5月8日(月) 会場 枝幸南中学校

##### (2) ねらい(授業・生徒理解交流共通課題)

枝幸南中学校区の教職員に授業を公開し、交流・協議することにより、小学校での課題を中学校として把握するとともに、中学校で取り組むべき課題を小学校の視点から明らかにしつつ、今後の小中学校連携のあり方を模索していく場とする。

##### (2) 秋季授業交流会

(1) 日時 平成29年11月27日(月) 会場 風烈布小学校

##### (2) ねらい(授業・生徒理解交流共通課題)

南5校(枝幸南中学校区)の教職員に授業を公開し、交流・協議することにより、校区内の学校間交流及び小中学校間の連携を深め、両者の課題を把握、共有することにより、充実した指導の展開、課題解決を図る。

##### (3) 討議の柱

- ① 各学年児童の実態について(授業者より)
- ② 風烈布小学校児童の様子について(良い点・課題点)
- ③ 各学校における学校生活全般(教科の学習以外)の児童生徒の交流
- ④ その他

##### (3) 校区小学校授業参観

(1) 日時 各小学校の授業参観日(各校4～5回)

##### (2) ねらい(授業・生徒理解交流共通課題)

- ①各小学校の児童の実態を把握する。
- ②各小学校の授業規律や授業の進め方を把握し、小中学校間で共有する。



#### IV. 成果と課題

##### 《成果》

- 教師や児童同士の理解が進み、中学校へのスムーズな引継ができている。
- 新学習指導要領への移行を踏まえ、南4校で共通の指導計画の編成に着手した。
- 南ブロックの子どもたちを9年間で育てようとする教職員の意識が高まりつつある。

##### 《課題》

- 小中学校間の教職員のかかわりが少なく、相互の教育活動の取組や学校状況があまり理解されていない。
- 児童数の減少が進み、自校での日常的な「練り合い」や「話し合い」を取り入れた学習ができなくなってきた。
- 事務局（担当校の教頭）の負担が大きい。前年度の反省や具体的な改善案、運営に関わる資料の確実な保管と引継ぎが重要となる。

##### 《改善点》

- 近隣の2校間でミニ集合学習を実施予定（平成30年度より）
  - ・移動時間短縮と少しでも長い時間を他校の児童と関われるようにするため（5時間×2日）
    - 低学年：国語、算数、生活、図工
    - 中学年：国語、算数、社会、理科、外国語活動
    - 高学年：国語、算数、理科、社会、体育
- 南ブロックの小学校4校で、共通の指導計画を作成（平成30年度より実施）
  - ・「道徳科」「外国語活動」

